

TKC近畿京滋会



事務所総合力強化プロジェクトとは

【活動方針】

職員でも実践できる経営助言業務のやり方を所長先生にご理解いただき、自らが実践していただけるよう動機付けを行う

職員でも実践できる経営助言業務を会計事務所の標準業務として定着させるための支援を行う



事務所総合力強化は、月次巡回監査の徹底・自計化推進と『変動損益計算書をベースにした経営助言業務の実践により強化されます。

まず、所長先生にその手法をご理解いただき、事務所の標準業務として浸透させていただくことが最大の目的です！

K P I (以下5つの項目の総称です)

翌月巡回監査 継続MAS (予算登録) F X 2 書面添付 会計要領

事務所総合力プロジェクトの全体像

【目的】『経営助言』を事務所の標準業務として定着させること！

【定義】「経営助言とは？」

『巡回監査担当者が行う経営助言』

巡回監査担当者が標準業務として、会計数値を利用して経営者と対話し、経営者に数値の意識付けを行うこと。

『ハイレベルな経営助言』

SWOT分析等の手法を駆使し、ハイレベルな経営計画書を作成すること。

【プロジェクトの目指すところ】

所長・幹部職員が『巡回監査担当者が行う経営助言』の内容を認識すること。

所長・幹部職員が『ハイレベルな経営助言』を実践できるようになること。

巡回監査担当者が標準業務として『経営助言』を実践できるようになること。

巡回監査担当者が『ハイレベルな経営助言』に取り組む準備ができること。

『経営助言』は標準業務であるという事務所風土を構築すること。

【プロジェクトの活動企画とその狙い（所長・幹部職員向け）】

『キックオフセミナー』（平成28年2月4日開催、講師：原田伸宏先生）

『巡回監査担当者が行う経営助言』の内容の認識と方法の確定

- ・変動損益計算書の活用による経営者への数値の意識付け
- ・ツール『リアルタイムで経営数値をつかむ』の内容理解と実践活用
- ・ツール『月次経営チェックノート』の内容理解と実践活用

『6支部合同事務所経営塾』（平成28年4月18日開催）

『経営助言』を事務所の標準業務として定着させるために何をすべきかの議論

- ・『巡回監査担当者が行う経営助言』の職員全員での取り組み
- ・そのための職員教育・育成
- ・TKC方式の自計化推進と継続MASシステムの徹底活用

『実践！経営助言』集中研修会（平成28年8月3日～4日、講師：増山英和先生）

所長・幹部職員が実践する『ハイレベルな経営助言』のノウハウ・スキルの習得

『継続MASシステム研修』（平成28年10月予定）

『経営助言』を標準業務として定着させるための具体的な方策を学ぶ

- ・経営者の想いを継続MASシステムに落とし込む（経営者の想いを共有）

【プロジェクトの活動企画とその狙い（職員向け）】

『キックオフセミナー』（平成28年2月4日開催、講師：原田伸宏先生）

『巡回監査担当者が行う経営助言』の内容の理解と実践の動機づけ

- ・変動損益計算書の活用による経営者への数値の意識付け
- ・ツール『リアルタイムで経営数値をつかむ』の内容理解と実践活用
- ・ツール『月次経営チェックノート』の内容理解と実践活用
- ・『経営助言』は難しいという固定観念の払拭
- ・巡回監査時における経営者との会話の意識付け
- ・TKC方式による自計化推進と継続MASシステム活用の動機づけ
- ・『経営助言』の実践による仕事に対するやりがいの創出

『経営助言』基礎研修（平成28年9月21日、10月25日、講師：岡村勇毅先生）

『巡回監査担当者が行う経営助言』の方法論と実践手法を学ぶ

- ・変動損益計算書の活用による経営者への数値の意識付け方法
- ・月次決算の徹底活用法
- ・ツール『リアルタイムで経営数値をつかむ』の徹底理解と実践活用法
- ・ツール『月次経営チェックノート』の徹底理解と実践活用法
- ・貸借対照表の読解と資金繰り状況の把握等

『経営助言』職員勉強会（平成28年12月、平成29年3月、6月予定）

ツール類の実践活用と経営者の想いを共有するための継続MAS活用

- ・『巡回監査担当者が行う経営助言』の実践確認と実践ノウハウの習得
- ・『巡回監査担当者が行う経営助言』の実践事例の情報共有
- ・経営者の想いを共有するための継続MAS活用方法の習得
- ・グループディスカッションによる実践スキルの向上

『実践！経営助言』研修（平成29年2月、4月～6月予定）

幹部職員養成のための『ハイレベルな経営助言』実践に向けた研修会

- ・職員向けの『実践！経営助言』研修
- ・ハイレベルな経営改善計画書の作成
- ・『経営助言』の知識とその活用法
- ・コミュニケーションスキル

以上

今までの活動内容と成果

平成28年2月4日『キックオフ研修会』(於：京都J A会館)

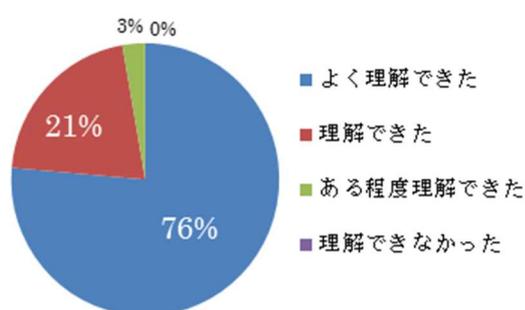
テーマ：「経営助言」～TKCビジネスモデルの構築～

講師：原田伸宏 先生 (TKC全国会 巡回監査事務所経営委員長)

「リアルタイムで経営数値をつかむ」「月次経営チェックノート」に基づき、職員さんにも出来る「経営助言」のやり方を講義いただきました。総勢で142名の方にご参加いただきました！

[巡回監査担当者がすべき『経営助言』の方法が確定する]

アンケート結果



原田伸宏 先生

平成28年2月9日『経営助言座談会』(於：TKC近畿京滋会研修センター)

テーマ：会計事務所が行う『経営助言』、『経営助言』を標準業務化するには！

『経営助言』をいかに事務所の標準業務として定着させるのかを議論し、その内容をインクライン4月号(別冊)にまとめ全会員に配布しました。インクライン4月号の巻頭言(本間プロジェクトリーダー)と併せてお読みください。

掲載内容 事務所総合力強化への取り組み

会計事務所が行う「経営助言」とは？その実践のポイントは？

「経営助言」の意味を整理しよう 第1レベルは、社長への数字の意識づけ

「経営助言」の実践を阻害する壁は？

「経営助言」を標準業務化する事の大きなメリットとは？

事務所総合力強化プロジェクトの今後の活動計画

SCGの事務所訪問時に以下も配布しております。

「リアルタイムで経営数値をつかむ」

「月次経営チェックノート」

2月4日「キックオフ研修会(原田伸宏 先生)」DVD



平成28年4月18日『6支部合同事務所経営塾』

経営助言座談会の内容に基づき、グループディスカッションで本音を語り合いました。

[『経営助言』を事務所の標準業務として如何に定着させるかを議論する]

4月18日『6支部合同事務所経営塾』

(於：TKC近畿京滋会研修センター)

15:00 ~ 16:00 オリエンテーション

16:00 ~ 18:00 グループディスカッション

グループディスカッションでは、6グループに分かれて「なぜ、経営助言ができないのか？」をテーマに意見交換をしていただきました。どのグループも活発に議論がなされ、各グループからの発表も、さまざまな視点からの内容で大変参考になりました。



グループ発表をする先生・職員様

会計事務所が行う『経営助言』とは？

原田先生の世界、つまり、変動損益計算書を活用して、社長に数字を意識づけること。これなら、職員さんでも十分にできる。すべての職員にやらせ、標準業務化していくことが重要です。

ハイレベルな経営助言は、所長・幹部職員の仕事！

『リアルタイムで経営数値をつかむ』と『月次経営チェックノート』は利用する価値がある資料だ！

『経営助言』の実践を阻害する壁は？

職員さんは『経営助言』と聞くとやはり難しいイメージがあります。帳簿を見て、会計と税務の月次巡回監査をやるのが手一杯、社長さんとコミュニケーションをとること自体が難しいのです。

継続MASで社長の想いを共有すると自然にコミュニケーションがとれてきます。ただ、聞くだけでよい。社長さんに寄り添うことが大切です。

『経営助言』標準業務化することのメリットは？

お客様、金融機関から評価され信頼関係が深まる。職員が仕事に誇りを持つ。お客様からの紹介が増える。

職員全員が関与先拡大の戦力になる。職員が『変動損益計算書』を社長と一緒に見て話をするようになれば、継続MASとか『実践！経営助言』とかを自発的に勉強するようになります。なぜなら、自分は社長から頼りにされていると感じ、よりよい信頼関係を築きたいと思うからです。仕事が楽しくなってきます。

『経営助言』が進めば、初期指導(関与先の協力)が加速度的に進み、業務品質が変わってきます。

受講所感

「経営助言」は難しいものではなく、まずは「寄り添う」事から始めれば良いという事で少し気が楽になりました。

経営助言を切り口に事務所経営の難しさを痛感しました。

経営助言を堅苦しくとらえずに普通の業務として身に付けたいと思います。

事務所の新入社員も取り組む態勢をつくる必要性を感じました。職員のレベルと関与先のニーズをよく考えて、原則として会社に対する経営助言サービスを提供しようと思います。

他事務所の先生方の考え方等を聞かせていただき、大変勉強になりました。



(所長向け) 今後の活動内容

ステップ	8月3日～4日『実践！経営助言』集中研修会
	会計事務所が行う経営助言の目的は「関与先企業の存続発展に貢献すること」です。『ハイレベルな経営助言』を自ら実践するため、書籍『実践！経営助言』の著者である増山英和先生を講師としてお迎えし、『経営助言』について真剣に学んでいただきます。 なお、この研修は近畿税理士会の認定研修として行います。



ステップ	10月予定『継続MASシステム研修会』
	『経営助言』を行うにあたり、継続MASシステムがいかに役に立つかを再確認いただきます。 経営者の想いを継続MASに落とし込むには、実際にどのように使えばよいのか？ 継続MASが経営者とのコミュニケーションツールとなることを実体験してください。 『経営助言』を事務所の標準業務として定着させるためには必須の研修です。



ステップ	11月以降『経営助言を標準業務に定着させるための事務所経営』



(職員向け) 今後の活動内容

ステップ	巡回監査による経営助言の実践 『経営助言』基礎研修（9月21日、10月25日）
	キックオフ研修会での原田伸宏先生の『経営助言』を徹底させるため『リアルタイムで経営数値をつかむ』『月次経営チェックノート』をベースに変動損益計算書を活用した『経営助言』、貸借対照表を活用した『経営助言』を学びます。ワークを取り入れた実践的な研修です。 講師：岡村勇毅 先生



ステップ	巡回監査による経営助言の実践 『経営助言』職員勉強会（12月、3月、6月）
	上記の継続研修として、『経営助言』の実践状況の確認と、実践ノウハウ習得のためグループディスカッション研修を3ヶ月に1度のペースで行います。経営者の想いを共有するための『継続MAS』活用研修も取り入れます。実践事例を共有するとともに、自ら発表し、他者の意見を聞くことにより実践スキルを磨きます。



ステップ	ハイレベルな経営助言への挑戦 『実践！経営助言』研修会（2月、4月～6月）
	幹部職員、エース級の職員を養成するために、『ハイレベルな経営助言』つまり、経営改善計画の提案・作成ができるレベルを目指し『実践！経営助言』を学ぶ研修会です。 コミュニケーション能力向上のためのコーチングスキルトレーニングも含まれます。

